

安全データシート

(JIS Z7253:2019 準拠)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	アルカリイオン水 pH13.2
供給者の会社名	クール・テック株式会社
住所	東京都狛江市東和泉2-16-30
電話番号	03-5761-5047
ファクシミリ番号	03-5761-5048
電子メールアドレス	support@cooltech.jp
緊急連絡電話番号	03-5761-5047
推奨用途	洗浄、消臭、金属加工など

2. 危険有害性の要約

GHS分類	物理化学的危険性	引火性液体	区分外
		自然発火性液体	区分外
		水反応可燃性化学品	区分外
		酸化性液体	区分外
健康に対する有害性		急性毒性(経口)	区分外
		皮膚腐食性及び刺激性	区分3
		眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2B
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分外
環境に対する有害性		特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分外
			区分外

注) 上記の GHS 分類において区分の記載がない危険有害性項目については、政府向け「GHS 分類ガイダンス」に基づき、分類対象外、区分に該当しない、または現時点で分類できない項目に該当する。

なお、健康に対する有害性の詳細な分類根拠については、後述の「11. 有害性情報」に記載の試験データ等を参照のこと。

GHSラベル要素	絵表示	なし
	注意喚起語	警告
	危険有害性情報	軽度の皮膚刺激 眼刺激
	注意書き	
	安全対策	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト/スプレーの吸入を避けること。 取扱い後は、手をよく洗うこと。 必要に応じて保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
	応急処置	皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
	保管	直射日光を避け、涼しい場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。
	廃棄	内容物/容器を、国/地方自治体の規則に従って廃棄すること。 廃棄する場合、多量の水で希釈して廃棄すること。

3. 組成および成分情報

純物質もしくは混合物	混合物
化学名又は一般名	アルカリイオン水
成分及び含有量	水 >99% 水酸化カリウム <1%
官報公示整理番号(化審法)	1-369 (水酸化カリウム)

	(安衛法)	既存	(水酸化カリウム)
CAS No.		1310-58-3	(水酸化カリウム)
分類に寄与する不純物及び安定化添加物		該当なし	
労働安全衛生法		該当しない	
危険有害物質		なし	
PRTR法		該当しない	

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を速やかに多量の水と石鹸(または流水)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて 容易に外せる場合は外し洗浄を続けること。 直ちに医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師の診断/手当を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	この製品自体は、燃焼しない。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
特有の危険有害性	本品自体は不燃性である。ただし、火災時の高温により水分が蒸発し、残存成分から刺激性・腐食性の水酸化カリウムや酸化カリウムのヒュームが発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から消火活動をする。環境への流出をできるだけ防止する。
消火を行う者の保護	火元への燃焼源を遮断し、周囲の状況に応じた消火活動を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏出の処置を行う際は、必要に応じて保護具(手袋、眼鏡等)を着用する。 換気を十分に行う。
環境に対する注意事項	漏出した液がそのまま河川等に排出されないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	技術的対策 安全取扱注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 ミストやスプレーの吸入を避ける。 取扱い後は手をよく洗う。 容器を転倒させたり、衝撃を加えたりしない。
保管	衛生対策 安全な保管条件 安全な容器包装材料	取扱後は十分に手を洗うこと。 直射日光、高温を避け、涼しい場所で密閉して保管する。 子供の手の届かない場所に保管する。 ポリエチレン、ポリプロピレン等の耐アルカリ性容器を使用する。 アルミ、真鍮、銅、錫等の腐食しやすい金属容器は避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	水酸化カリウム	未設定
許容濃度	水酸化カリウム	日本産業衛生学会(2024年度版) 最大許容濃度 2mg/m ³ ACGIH(アメリカ産業衛生専門家会議) TLV-Ceiling 2mg/m ³
設備対策		取扱い場所の近くに洗眼器及び身体洗浄設備を設置すること。 ミストが発生する場合は、換気設備を設置することが望ましい。
保護具	呼吸用保護具	通常の使用では不要。ただしミストが発生する場合は、必要に応じて防毒マスク(酸性ガス用等)や防塵マスクを着用する。

手の保護具
 眼の保護具
 皮膚及び身体の保護具

保護手袋(不浸透性、ゴム製等)。
 保護眼鏡(側板付き、またはゴーグル型)。
 長袖の作業着等(必要に応じて不浸透性の保護前掛け等)。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态	物理状态	液体
	色	透明
	臭い	無臭
pH		13.2
融点・凝固点		0°C(水)
沸点、初留点及び沸騰範囲		100°C(水)
引火点		不燃性
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		適用されない
燃焼又は爆発範囲		不燃性
蒸気圧		23.8 mmHg (25°C)(水)
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		水に易溶
n-オクタノール/水分分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	強酸性物質と反応し、中和熱を発生する。 アルミニウム、真鍮、銅、錫等の金属と反応し、水素ガスを発生するおそれがある。
化学的安定性	通常の取扱い及び保管条件(常温・常圧)下では安定である。
危険有害反応可能性	強酸との接触により激しく反応する。 特定の金属(アルミニウム等)を腐食させる。 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	直射日光、高温、強酸との接触、および特定の金属との長時間の接触
混触危険物質	酸、強酸
危険有害な分解生成物	通常の状態では発生しない。ただし火災時等の高温下では、水分が蒸発し、酸化カリウム等の刺激性・腐食性ヒュームを発生することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分外:混合物の推定値(ATEmix)は 5,000mg/kgを超える(理論上の含有成分1%未満の計算による)。
	経皮	分類できない
	吸入(蒸気・ミスト)	分類できない
皮膚腐食性及び刺激性		以下の試験結果に基づき「区分3」と判定した。 動物試験(OECD 404準拠):一次刺激性インデックス(P.I.)が0および1.80であった結果に基づく。 ヒト皮膚安全性試験(自社データ):健康な日本人男女12名を対象とした塗布試験(24時間観察)において、医師の診断により紅斑や落屑(肌荒れ)は一切認められず、安全性が確認されている。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		皮膚刺激性試験の結果に基づき、眼に対しても区分2B(軽度の刺激)と推定した。
呼吸器感作性及び皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		成分濃度が濃度限界(1.0%)未満の区分1の成分は水酸化カリウムで、その他の成分がいずれも区分外のため、GHS:区分外に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		成分濃度が濃度限界(1.0%)未満の区分1の成分は水酸化カリウムで、その他の成分がいずれも区分外のため、GHS:区分外に該当する。
吸引性呼吸器有害性		分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性(急性) 水生環境有害性(長期間)	分類できない 分類できない
オゾン層への有害性		モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	多量の水で希釈してから、国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。 中和処理が必要な場合は、専門の処理業者に委託すること。
汚染容器および包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規に従って適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 航空規制情報 国連番号 国連分類	非危険物(IMO/IMDGコードに規定される危険物に該当しない) 非危険物(IATA/ICAOに規定される危険物に該当しない) 該当なし 該当なし
国内規制	陸上規制 海上規制情報 航空規制情報	非該当 非危険物 非危険物
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号		なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	第57条の2第1項政令指定物質：該当しない(水酸化カリウム 1%未満のため)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)(水酸化カリウム)
廃棄物処理法	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4第3号)(廃アルカリ)(pH12.5以上のもの)
PRTR法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

連絡先	クール・テック株式会社
参考文献	NITE GHS分類公表データ
その他	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

以上